

北海道建設新聞

幼稚園児らと ヤマメ稚魚放流

宮坂建設工業

【帯広】帯広開建発注の河岸保護工事を請け負っている宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は2日、現場の音更川河川敷に音更幼稚園の園児を招いてヤマメ放流会を開いた。写真。園児に放流を通じて自然と触れ合う楽しさを教えた。

同社が施工する十勝川改修東音更築堤ほか河岸保護は、急流河川の低水



路浸食を防ぐために低水護岸を改修する工事。自然回帰の促進を図るため、現場担当者らが社会貢献の一環として、ヤマメの放流を企画し、音更幼稚園に手伝いを依頼した。

この日は、約60人の園児とその保護者が集まり、体長10センチほどのヤマメの稚魚2000匹を放流した。高道伸常務は「生命、自然の大切さを学んでくれれば」と思い開いた。喜ぶ園児の何よりの笑顔で話していた。